



# ala クルーズ

広報第2号  
平成14年11月29日

## photo album



## フロントスタッフ体験記

オープニングセレモニーの時から、私のアラフロントスタッフとしての第一歩が始まりました。先生に注意されたり、何度も仲間に助けられたりしたけれど、毎回何とかやり遂げてきました。はじめは不安だらけだったけれど、時間が経つにつれて段々緊張も薄れ、お客様に声をかけられた時は、とてもうれしく感じました。

また、公演の内容によって、エントランスの雰囲気全然違っていたので毎日が新鮮な気持ちでした。まだ先生に指導していたようにはいませんが、これからも皆さんと協力し何度も経験を積んでいく中で少しずつ慣れていきたいです。

そして、不安より自信のほうが大きくなるようにがんばっていきたいです。 (H.O)



「可児市にも文化センターができるんだって」「ほぁー」[alaクルーズの入会説明会があるんだって]「ふーん」「立派な建物でボランティアなんて格好いいよ」「うんうん」「創造企画・広報・支援の3つのグループのどれかに」「そうだなー」というような軽い気持ちで入会したのが支援グループ。支援だったら文化センターのベテラン職員の指示を受けて「はい、はい」って動いていけばいいんだらうな。ところが大違い。自分がフロントスタッフとして最前線でお客様をお迎えすることになるとは。

何回かの打ち合わせ、他の文化センターへの見学会、そしてやって来たのがマナー研修。「覚える、疲れる、忘れる、覚える、疲れる、忘れる、」この繰り返しの4日間。「自分はやっぱり合っていないな、星野先生すみません」葛藤という言葉はこういうときに使うんだな。といいつつも、7月27日のオープン以来もう数回のフロントスタッフを努めさせていただきました。

「元気だせ、思い出せ、忘れるな、元気だせ、思い出せ、忘れるな」今は繰り返しの言葉もちょっと変わってきました。そして気持ちも変わりました。「半端じゃできないこの仕事、気持ちも、態度もプロ意識!!」



(K.O)

「お待たせいたしました、ただいまより主劇場を開場いたします……。」台所に立ちながらこの口上を何回練習しただろう。壁に張った劇場のシートナンバーを横目で見ながら「3番扉よりお入り下さいませ」これまた数え切れないほど練習を重ね、本番を迎える。頭の中ではパーフェクトでいざ出陣、しかしお客様を前に、「え～」「あ～」とパニックになっている自分がいる。

アラクルーズに入会する際、企画や広報などとても無理、支援なら何とか出来るだろうと、楽な道を選択した筈なのだが、私の人生の中では、私が主人公だったけれど、今私はこのボランティアを通じて、主人公から脇役へ身を置く努力をしている。すると今まで見えなかったものが見えてきたような気がする。回数を重ねるにつ

れ、少しずつではあるが自信もついてきた。アラに沢山のお客様が来場して下さることを願いつつ支援に在籍してよかったなと思う今日この頃である。 (E.M)

7月のオープンより、フロントスタッフを、4回ほど経験しました。何しろ緊張しっぱなし、立ちっぱなしで、終了後スタッフ室へ戻るなり靴を脱ぎ裸足に。まだまだこんな状態ですが終わった後の充実感はずっと他のグループでは味わえないでしょうね。入場の案内間違い等の失敗はありましたがアラの歴史に残る？なんてのはまだありませんのでご安心ください。フロントスタッフ全員が全力投球でがんばっています。

まだまだフロントスタッフの数がやはり足りません。次回のマナー講座に一人でも多く参加し活動できる仲間が増えることを希望します。何しろ始まったばかり、星野先生に教わったことを早く自分のものにし初心を忘れずアラに来ていただいたお客様に喜んでいただける接客ができれば最高です。最後にフロントスタッフだけが支援の活動ではないので、少し落ち着いたら他の活動もトライしてみたいです。

(Z.O)

## 「可児の古陶展」を終えて

alaの開館を前にして、何かをやらなければという気持ちから、市民だけで出来そうなテーマを選びました。

音楽・演劇を好む人は多いが、美術・工芸に関心を持つ人は少ないのでは…。

そこで、可児の陶芸の歴史を知ってもらおうと同時に美術や工芸に関心を持つ人が増えてほしい。そして、物との対話する姿勢を知ってもらいたい。

(Y・Y)



古陶展会場風景...国宝級の展示品に見入る人たち。

22年間、可児市に住んでいて「志野焼」の名前は知っていたし、興味もありましたが、写真とガラス越しの世界でした。今回、プロジェクトに参加して垂れ幕の製作や陳列を行い、楽しい思いをしました。

「かけら」とは言え、桃山時代の作品に触れていると時代の重みと文化の不变さを感じ、自分でも作品を表したい気持ちがしました。そして、陶芸プロジェクトの皆さんと仲良くなれたことが最高の収穫でした。

(M・B)



訪れた人に丁寧に説明をするプロジェクトメンバー



出展作品に見入る人たち

## 「ロビー展示プロジェクト」



ロビー展示風景

文化創造センター開館の7月27日～8月2日、ロビースペースを使って、ala建設への市民参加のあゆみを様々な方法で展示しました。このプロジェクトは、創造企画・支援・広報各グループから有志が集まり約5ヶ月をかけて展示用に年表・パネル、パ

ソコン、ビデオ、小冊子、入会案内パンフ等を製作してきました。

どれくらいの人に見てもらえるかという期待と不安がいっぱいの開館当日、オープニングイベントに来館された多くの方々が展示スペースに足を運んで下さりました。年表・パネル、ビデオを見たり、パソコンを操作したり、用意したアンケートにも快く記入して頂きました。

反省会では、「初めての事だったがよく協力できた」、「この経験を生かし、次回活動はもっと良くしたい」等前向きな意見も多くだされメンバー全員が本当に充実した活動となりました。

アンケートでは市民の方から「がんばっているのが伝わってくる展示」という声も多く聞かれ、ala建設に設計段階から市民が関わってきた経緯を多勢の方に知っていただく今回の目的は十分に達成できたと思います。



手の込んだ年表・パネル

# 可見市文化創造センター *ala*

からのお知らせ

2003  
1/12<sub>sun.</sub>

## ショーロ・クラブ コンサート



アコースティックの温かい響き。リオ(ブラジル)で生まれたインストゥルメンタル・ミュージック「ショーロ」の香り高く、オリジナリテイ溢れるセンチメンタルな音世界。光、風、空、緑…ブラジルの本気を奏でるショーロ・クラブの音楽は、ショーロの本場ブラジルでも独自の音楽として高く評価されています。

時間●開場 13:30 ●開演 14:00

会場●小劇場(虹のホール)

料金●一般：¥3,000

高校生以下：¥2,000

(全席指定)

2003  
1/18<sub>sat.</sub>

## ヤングミュージックフェスタ2003 JAYWALK コンサート

時間●開場 18:00 ●開演 18:30

会場●主劇場(宇宙のホール)

料金●¥3,000(全席指定)

2003  
1/25<sub>sat.</sub>

## ダンスコレクション2002 日印国交樹立50周年記念事業 ダンス東風Ⅲ

## ～アジアの芸術家と共に～ 「舟もなく～RIVER DANCE～」

時間●開場 13:30 ●開演 14:00

会場●小劇場(虹のホール)

料金●一般¥2,500

高校生以下¥1,500

(全席指定)

出演●竹屋啓子、ケイ・タケイ、室伏晴

演出●佐藤信(美術)、Anuradha Kapur

振付●竹屋啓子、ケイ・タケイ、室伏晴

2003  
2/8<sub>sat.</sub>

## 藤原由紀乃ピアノリサイタル

開演 18:30

会場●主劇場(宇宙のホール)

料金●一般¥2,500

●高校生以下¥1,500

2003  
3/14 fri.

# コシミハル ミュージックホール“コルセット”

時間●開場 18:30 ●開演 19:00

会場●小劇場(虹のホール)

料金●一般 ¥4,000

高校生以下 ¥3,000

出演●コシミハル(ヴォーカル、ダンス、ピアノ、アコーディオン)

森本京子(バレリーナ)

青木由香(バレリーナ)

柴田みよ子(バレリーナ)

大澤昌生(ファゴット)

有森直樹(ピアノ)

以上チケットの取扱い

11月30日(土)発売開始

■可児市文化創造センターインフォメーション tel 0574-60-3050 (休館・火曜)  
可児市文化創造センターインフォメーションでの電話予約は12月1日(日)受付開始  
営業時間 9:00 a.m. ~ 7:00 p.m.

■チケットぴあ(オペレーター予約) tel 052-320-9999

○入場料金は消費税込の金額です。

○就学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮下さい。

○高校生以下のチケットは、可児市文化創造センターインフォメーションのみお取り扱い致します。

○演出の都合上及び他のお客様のご迷惑になりえますので、開演後のご入場を制限させて頂く場合がございます。開場へはお早めにご来場下さいませ。

好評発売中

## 宮本亜門ミュージカル 「アイ・ガット・マーマン」

2002年12月7日(土)

19:00 開演

会場●主劇場(宇宙のホール)

料金●S席 ¥5,000

A席 ¥4,000

## 土田英生新作・演出公演 「南半球の渦」

2002年12月21日(土)

14:00 開演

会場●小劇場(虹のホール)

料金●一般 ¥4,000

高校生以下 ¥3,000

\*以上のチケットが売切れの場合はご容赦下さい。

お問い合わせ □ 可児市文化創造センター (休館・火曜)  
〒509-0203 岐阜県可児市下恵土 3433-139  
tel 0574-60-3311 fax 0574-60-3312  
E-mail http://www.kpac.or.jp

## 広報グループ...取材活動...

平成14年7月27日alaがオープン致しました。様々な思いを抱いて、この日を迎えた方も多いことでしょう。

オープニングは2日間にわたり、館内の全ての場所で様々なイベントが開催されました。広報グループではこの様子を記録に残そうと、全員で取り組みました。取材に関しては、いろいろな規制や制約がありましたが、主催者側と交渉を重ね、直前になってようやく劇場内を含む全ての場所での取材許可を取りつけることが出来ました。

初日、テープカットに続いて、主劇場で「市制20周年記念式典」が開催され、オープニングイベントがスタートしました。また、フロントスタッフの正式なデビューでもあります。担当するスタッフは早朝より集合し、朝礼で指示された各自の配置について、来場した大勢の観客にテキパキとした動

作で、何の混乱もなく対応していました。2ヶ月間にわたる厳しい研修の成果が十分に発揮されていました。

ビデオ撮影は財団所有のカメラ2台を借受け、4台のカメラを駆使して行いました。劇場内や周辺で開催されるイベントをすべて記録するように心掛け、早朝より深夜まで動きづめの2日間でした。事前の綿密な打合せにも関わらず、直前になって予定が変更となる場面もありましたが、チームの連携と臨機応変の対応で混乱する事も無く、無事に撮影は進められました。途中、一人で重いカメラと三脚を抱えての移動に軽いめまいを覚えることもあり、日頃の体力の管理の大切さを痛感させられました。同時に、三脚やライトを分担して数人で動き回るTV局の撮影チームを見て羨ましくも感じました。

主劇場での「伊勢正三&山本潤

子ライブ」で、二日間のビッグイベントは多くの興奮の余韻を残して無事に終了しました。閉演後の終礼時に笹橋課長からフロントスタッフの皆さんに、「完璧でした。感動しました」という挨拶があったのが印象的でした。疲労は極致でありましたが、やりきった満足感はそれ以上だったと思います。

関係された皆様には、暑い二日間、本当にお疲れ様でした。我々広報グループも見やすい紙面作り、記録画像、インターネット等で幅広く活動してまいります。



重い機材を担いでの炎天下での撮影は、体力が勝負！

## アーラクルーズはじめての交流会



盛り上がる会場

去る9月15日、可児市文化創造センターレセプションホールにおきまして、アーラクルーズが発足後初めてとなる会員同志の交流会が開催されました。

7月27日alaが華々しくオープンした事によって、アーラク

クルーズの今後の活動の在り方や方向性もどうやら定まってまいりました。

alaとは車の両輪の如く共に成長し発展することが最も重要であることから、オープン後やっと落ち着きを見せてきたこの時期に、澤野会長の音頭のもと創造企画・支援・広報の3グループの交流会が初めて実現しました。

当日はalaからの参加者も含め総勢50名が顔を揃え、発足以来の労をねぎらうと共に、今後の活動に対する一層の取り組みを誓い合いました。

マッシュバンドも華を添えて賑やかな交流会となり、参加者にとっては、今後の活動の新しいエネルギー源になったことと思います。



バンドの演奏に合わせて、歌と手拍子も始まり、大いに盛り上がる懇親会会場

## フロントスタッフ第二期研修開催

10月13日から11月4日までの4日間で第2期フロントスタッフ研修が21名の参加で行われました。今回は2回目ということで、内容的には研修を受ける方はある程度の予備知識がありスムーズに運びました。それでも初めてのことで、戸惑い、間違い、失敗、多々ありましたが、本番では完璧に行えるようがんばりました。

フロントスタッフがまだまだ足りないようで、第3期研修も来年度に計画されています。多数の参加をお待ちしています。

<<<<<< 星野先生を囲んで! >>>>>>

10月26日スタッフ室において、星野先生を迎えて交流会が行われました。今回はフロントスタッフ研修第二期生の研修を行っている期間中でしたが、星野先生にはお忙しい中ご出席いただき、2時間程度でしたが、楽しい時間を過ごしました。

支援グループの人たちが中心となり企画を立てての交流会でしたが、創造企画グループ・広報グループで研修を受けているメンバーも参加し、27名でテーブルを囲み話がつきなかったようです。



## もう一つの情報発信の窓口...それがホームページ!

URL: <http://www.kpac.or.jp/alacrews>



alaクルーズのホームページ

広報誌「alaクルーズ」創刊号の発行とともに「alaクルーズ」のホームページを立ち上げました。その内容は、各グループの目指す方向・目標・活動状況などを取り上げています。広報誌の発行は年間3～4回となりますがこのホームページでは新鮮な情報を毎日でも発信することが出来るようになりました。この情報の窓口を利用しない手はありません。各グループの皆さんの情報をお待ちしています。



企画・創造グループのホームページ



広報グループのホームページ



支援グループのホームページ



## プロジェクト進行中

現在、創造企画グループでは、2つのプロジェクトが進行しています。いずれも財団からの委託事業です。1つは、平成15年2月22日に予定されている、音楽企画で、名古屋芸術大学器楽科フルートオーケストラによる、フルートだけのコンサートです。プロジェクトメンバーは、名古屋芸術大学へも2度ほど足を運び、代表者に会って話を聞いたり、今までの演奏会のビデオを見たりして打合せを進めています。11月中には曲目やプログラ

ムも決まる予定で、年内にはポスターやチラシもできあがることでしょう。

もう1つは、アーラアーツスクールの一環として行われる照明ワークショップ(仮称)です。平成15年2月8日開催予定のこの企画は、舞台照明に携わる市内の高校演劇部や、劇団のメンバーを対象にしています。現役の照明家として活躍されている財団の下村さんを講師としてお招きし、照明プランと技術のスキルアップを図り、人材発掘・育



成を目指す専門的なものです。

いずれもアーラ開館後初の受託事業ということで、プロジェクトメンバーは今までとは違う緊張感とプレッシャーを感じながらも、新たな決意で意欲的に取り組んでいます。



## alaクルーズ事務スタッフ紹介

皆さんのお世話をさせていただいております事務スタッフの橋本京子さんをご紹介します。

### 事務スタッフの主な仕事

- ・事務局としての事務処理及び整理
- ・会計事務
- ・創造スタッフ室管理及び利用者の対応

### 橋本さんから一言

alaクルーズの事は、「広報かに」で知りました。みなさんのボランティアに対する情熱が伝わり、一緒に仕事ができる事を嬉しく思います。いつでも気軽に声をかけていただければ幸いです。創造スタッフ室でお待ちしています！

(勤務日：水・木・土・日 10:00 ~ 16:00)

## 編集後記

寒波襲来により厳しい寒さと冷たい北風の吹く日の夜、編集会議が行われました。

暖房のきかない部屋、震えながら始まった会議も次第に熱を帯び寒さはどこへやら、市民に楽しみ、親んでもらう紙面をどのように作るか、議論沸騰で熱気が立ち昇り寒さもどこへやら・・・

編集委員全員が納得のいく編集になった喜びで一杯、これからも皆さん期待して下さい、alaクルーズの広報誌を！

( T . N )

